

# 農学部における 海外留学について

## 大学全体のプログラム

### 学生大使プログラム

海外拠点校（ベトナム国家農業大学、ガジャマダ大学  
又は新モンゴル学園）に、2週間「学生大使」として滞  
在。（夏/冬2回募集）

### 短期派遣留学

大学間交流協定を締結している海外の大学の1年以内の  
短期留学。（例年秋ごろ募集）

■その他大学全体の留学情報はこちら

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/international/abroad/>



## 農学部のプログラム

### JASSO協定派遣プログラム

プログラムは年度により異なります。  
事前説明会の情報や申し込み方法等も  
掲示板やWeb Class掲示板、HPで  
お知らせしますので、随時チェックし  
てください。

#### ■2025年度

#### チェンマイ大学（タイ）

行先（協定校）：タイ・チェンマイ大学

時期/期間：時期については応相談。6か月間程度

担当教員：叶 奈緒美 准教授

派遣人数：～2名

概要：チェンマイ大学（CMU）を東南アジアの拠点とした植物機能の多様性評価を機能性成分の探索に関する教育・研究活動を通じて、研究者・技術者の育成を目指すとともに、山形大学とチェンマイ大学間の学術、文化交流の基盤形成を目指す。

#### パジャジャラン大学（インドネシア）

行先（協定校）：インドネシア・パジャジャラン大学

時期/期間：時期については応相談。1か月～2か月間程度

担当教員：佐藤 智 准教授

派遣人数：～3名

概要：パジャジャラン大学において、学生は各自の専門の関連分野の研究室に所属し、現地指導教員の指導および学生の協力の元で自身の卒業論文研究の一環になる研究を実施する。また、全参加学生共通の研究テーマとして、完全循環型社会を形成しているカンブンナガ村の農村社会や農業の仕組みについての解明に取り組む。山形県庄内地方をはじめとする日本の山間部の農村の今後について考え、実際の課題に対策していくことを本プログラムのミッションとする。

# サマー/ウィンタースクール

## ■昨年度のプログラム（2024年度）

### 1. サマースクール（ドイツ・ポーランド）

行先：ドイツ・ポーランド

時期：9月（20日間程度）

担当教員：ロペス・ラリー 教授

参加人数：9名

概要：ドイツ・ハノーヴァー大学、ポーランド・ワルシャワ生命科学大学への派遣。

農地・果樹園・森林などを訪問し、ヨーロッパの気候変動に関してどんな対策が取られているのかを学生達と討論する。



行先や日程は毎年異なります。  
事前説明会の情報や申し込み方法等も  
掲示板やWeb Class掲示板、HPで  
お知らせしますので、随時チェックして  
ください。

### 2. ウィンタースクール（スペイン）

行先：スペイン

時期：1月頃（10日間程度）

担当教員：ロペス・ラリー 教授

参加人数：10名

概要：スペイン・レイダ大学への派遣。

フィールドワークやレイダ大学の研究、取組みについて学び、レイダ大学学生と討論する。



### 3. ショートステイプログラム（タイ）

行先：タイ チェンマイ

時期：10月頃（7日間程度）

担当教員：叶 奈緒美 准教授/小林 翔 准教授

募集人数：10名

概要：タイ・チェンマイ大学への派遣。タイの農業、バイオテクノロジーの研究、および関連企業の訪問を通じて、研究・企業人としての国際感覚、英語によるコミュニケーション能力を身に付けることを目的とする。



### 4. 海外短期派遣（カンボジア）

行先：カンボジア

時期：12月（5日間程度）

担当教員：市浦 茂 助教

募集人数：4名

概要：現地でのカシューナッツ加工選別体験を通して、現地の課題、DX化への課題を体験してもらう。プノンペンでのJICA訪問、ポルポト政権の大虐殺の悲劇と現在の経済発展の農産物流通を学ぶ、カシューナッツ加工工場の作業体験、アンコールワットの歴史を学ぶ、など。



## (日本国内での参加) ウインタースクール

### ■昨年度プログラム (2024年度)

行先や日程は毎年異なります。  
事前説明会の情報や申し込み方法等、  
学生センター前の掲示板やCS掲示板、  
HPでお知らせしますので、随時チェックしてください。

### ウインタースクール (ドイツ・ハノーヴァー大学からの受入)

行先：東京、山形 (蔵王、米沢など)

参加学生：ドイツ・ハノーヴァー大学の学生 (18名)、山形大学の学生 (16名)

時期：2月頃 (14日間程度)

担当教員：ロペス・ラリー 教授

概要：海外協定校の学生と、日本国内 (東北地域) での短期交流プログラム (ウインタースクール)。東北の農業、林業、再生可能エネルギーの特性について講義を受け、実際に農業、林業を評価する為にドローン技術を見学し、学ぶとともに、参加学生の間でグループディスカッションを行う。



令和6年度以降の入学者より、国内プログラムの参加によっても  
・【国際理解I】(学部生) ・【国際理解】(大学院生)  
の単位取得が可能になりました。

6月4日(水)

16:30~

\*詳細後日掲示

## 前年度プログラムの学生報告会

昨年度の海外短期派遣・受入プログラムの参加学生から、プログラムの内容、魅力、プログラムから得た学びを発表してもらいます。

今年度参加を検討している方、興味のある方はぜひ参加してください。

# 農学部の留学プログラムと 単位認定科目について

国際展開プログラムとは…

学んだ理論や技術を活かして国際的に活躍したい学生を対象とするプログラム。

(農学部2年以降のプログラム選択時に選択可能)

(詳細)

<https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/course.html>



## サマー/ウィンタースクール

- 学部学生：国際理解 I ※国際展開プログラム所属の学生は選択必修科目
- 大学院生：国際理解

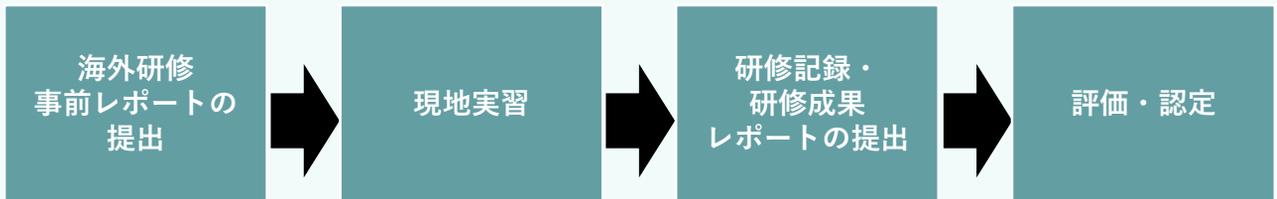
の単位取得が可能です。

## JASSO協定派遣プログラム

- 学部学生 (国際展開プログラム所属学生のみ)：国際理解 II
- 大学院生：研究インターンシップ

の単位取得が可能です。

### 【国際理解 (I・II・記号なし共通) 単位取得の流れ】



### 【研究インターンシップ 単位取得の流れ】



※参加前に、自身の指導教員に相談すること。

研究インターンシップの単位付与に関しては、JASSOプログラムのコーディネーター教員から実習先担当者との調整が必要になるため、希望する場合は参加申込時に申し出ること。

(参考) 山形大学シラバス

<https://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/syllabus/2025/home.htm>



(問い合わせ先)

山形大学農学部学務課国際室

TEL：0235-28-2847 /2827

E-MAIL：yu-nogaku-ryug@jm.kj.yamagata-u.ac.jp